

Gakken

# 決算説明資料

2026年9月期 第2四半期

2026.5.15

株式会社学研ホールディングス

証券コード 9470



## 人の可能性を どこまでも追求する会社へ

<b>Growth</b>	人と社会の持続的な成長に貢献しよう
<b>Action</b>	新しいきっかけを生み出す行動を起こそう
<b>Knowledge</b>	誰よりも学び、率先して知識を還元しよう
<b>Kindness</b>	お客様や、共に働く仲間に優しさと思いやりを示そう
<b>Enjoy</b>	誰かを楽しませるためには、まず自分が楽しもう
<b>New Stage</b>	ボーダレスに思考し、活躍の場を世界に広げよう

## 80周年を迎えてのご挨拶

当グループは、2026年4月に創業80周年を迎えました。  
皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。  
1946年の創業以来、私たちは常に社会課題と向き合いながら、  
積極的に事業を変革し続けてまいりました。  
「社会課題への挑戦こそが事業である」という信念は、  
私たちのDNAです。  
100周年に向けて、さらに皆さまと対話を深め、  
ともに新たな価値を創造していくことを願っております。

# INDEX

01

2026年9月期  
第2四半期  
決算概要

P.05

02

教育分野  
業績

P.11

03

医療福祉分野  
業績

P.16

04

Gakken2027  
進捗

P.18

05

決算補足資料

P.29

# 01 2026年9月期第2四半期 決算概要



## 2026年9月期 第2四半期 連結業績 エグゼクティブサマリー

## 医療福祉・グローバルが売上高の成長を牽引

売上高 <b>1,048億円</b> 前期比 +6.1%	EBITDA※1 <b>70.3億円</b> 前期比 +5.8%	営業利益 <b>46.7億円</b> 前期比 +2.8%	経常利益 <b>44.5億円</b> 前期比 +5.7%	当期純利益※2 <b>20.8億円</b> 前期比 -14.0%
------------------------------------	--	------------------------------------	------------------------------------	--

(単位未満は切捨て)

## 連結売上高

教育分野におけるDTP Education Solutions JSC(以下DTP社)の連結子会社化に加え、医療福祉分野での施設数増加および入居率の高水準維持、周辺事業の堅調推移等により、前年同期比6.1%増

## EBITDA※1

EBITDAは、各事業で増減要因が交錯する中、DTP社の連結効果や認知症グループホーム事業の伸長等により、前年同期比5.8%増

## 営業利益

営業利益は、出版・コンテンツサービス事業およびグローバル事業の減益を、保育・幼児事業や認知症グループホーム事業の増益等が補い、前年同期比2.8%増

## 経常利益

営業利益の増益影響と前年に計上した持分法による投資損失の改善で前期比前年同期比5.7%増

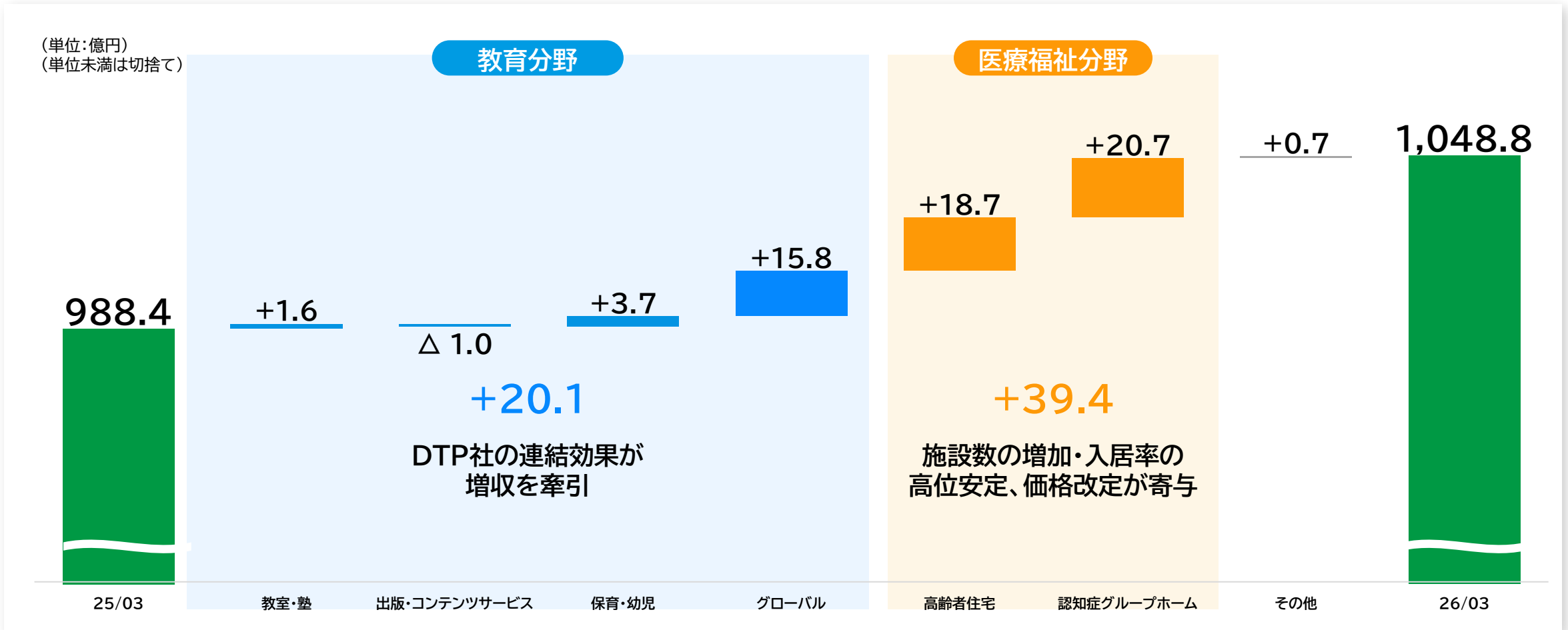
## 当期純利益※2

前年第1四半期に計上した特別利益の反動減と投資有価証券評価損の計上で前年同期比14.0%減

※1 営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算。 ※2 親会社株主に帰属する当期純利益。

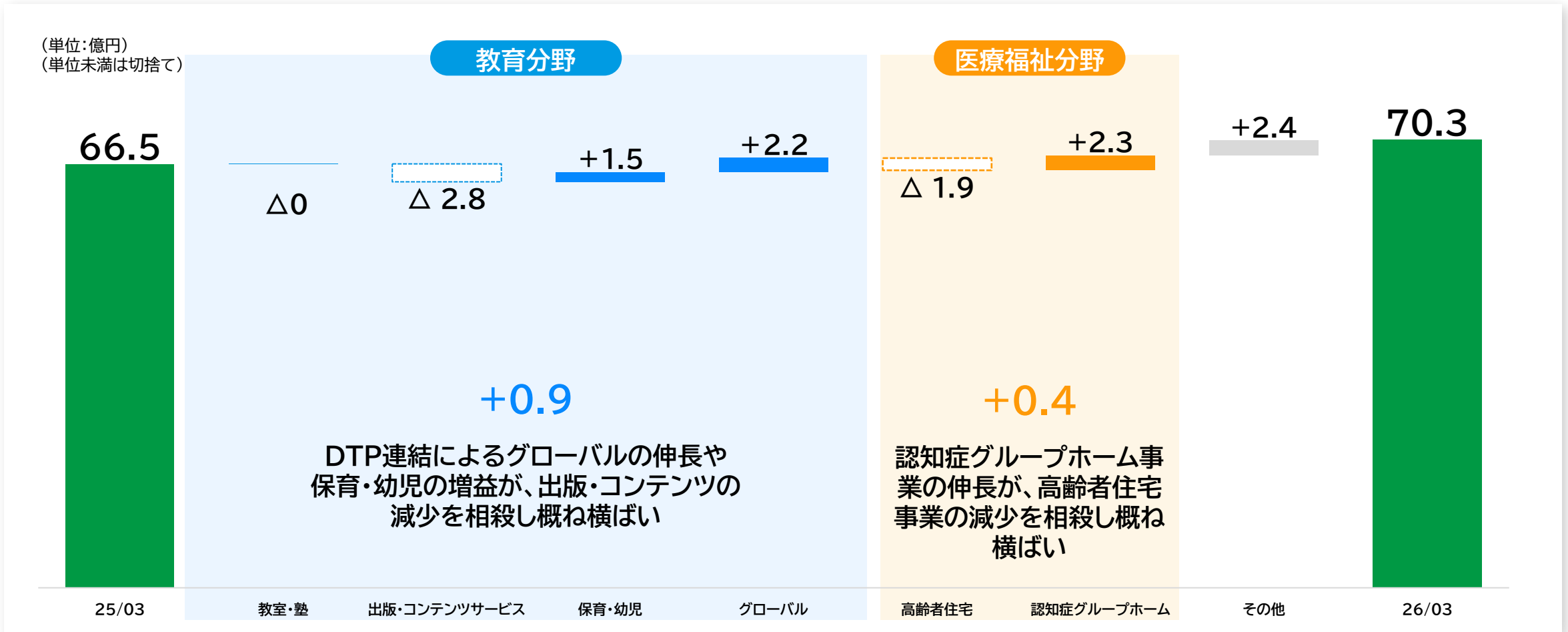
## 売上高 増減分析

DTP社の連結効果および医療福祉分野における施設数拡大、高水準の入居率維持、周辺事業の堅調推移により増収



## EBITDA 増減分析

各事業における増減要因が交錯しつつも、DTP社の連結効果や認知症グループホーム事業の伸長によりグループ全体のEBITDAは増加



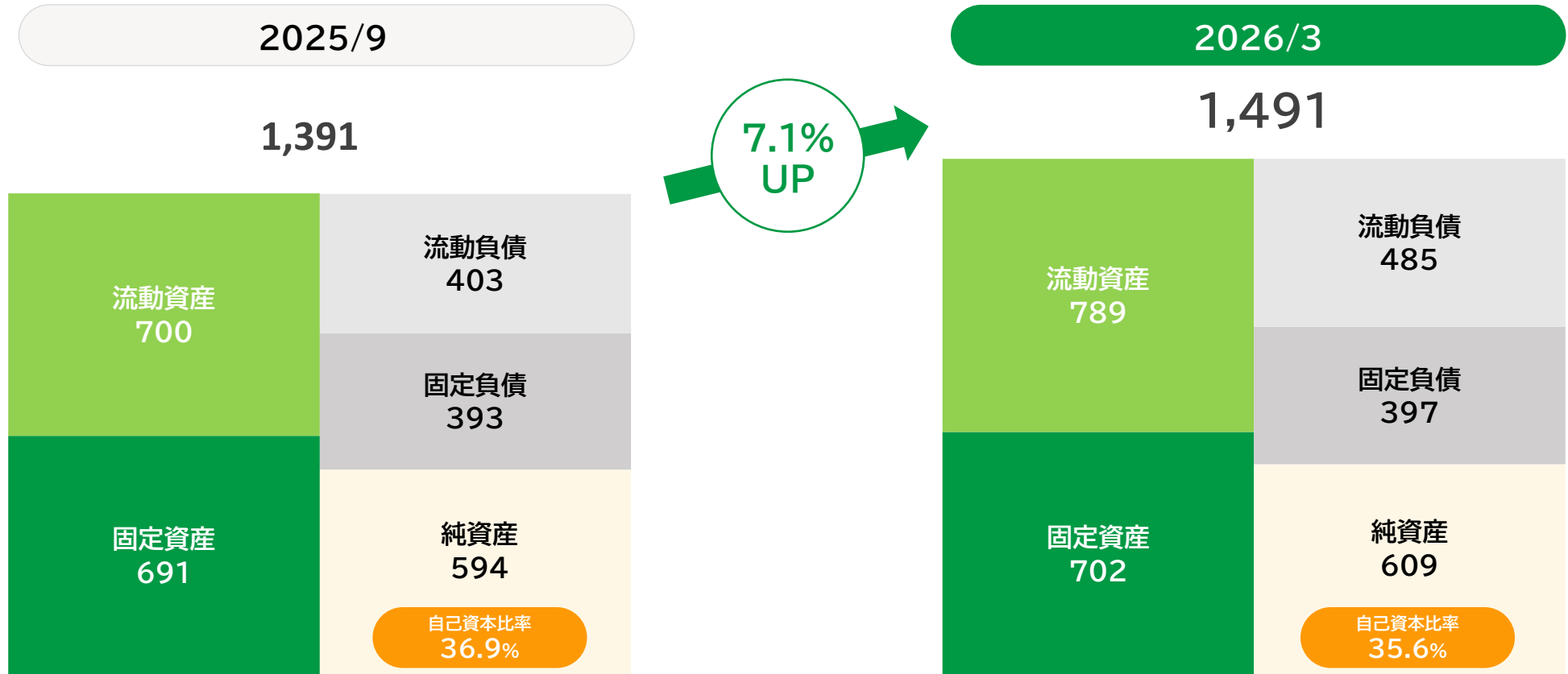
## 2026年9月期 第2四半期セグメント別業績(前年対比)

(単位:億円) (単位未満は切捨て)	2025年9月期 2Q(実績)			2026年9月期 2Q(実績)			増減(前年対比)		
	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益	売上高	EBITDA	営業利益
<b>教育分野</b>	549	53	41	569	54	40	+20	+1	△1
教室・塾	272	23	14	274	23	15	+2	+0	+1
出版・コンテンツサービス	177	27	24	176	24	21	△1	△3	△3
保育・幼児	86	3	2	90	4	4	+4	+1	+2
グローバル	13	0	0	29	2	△1	+16	+2	△1
<b>医療福祉分野</b>	423	19	11	462	20	12	+39	+1	+1
高齢者住宅	223	9	5	242	7	4	+19	△2	△1
認知症グループホーム	199	10	6	220	13	8	+21	+3	+2
その他	15	△7	△8	16	△4	△6	+1	+3	+2
<b>グループ合計</b>	988	66	45	1,048	70	46	+60	+4	+1

## 連結財政状態

事業の拡大により総資産は7.1%増加、自己資本比率は35.6%に低下

(単位:億円)(単位未満は切捨て)



# 02 教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する4事業を展開。  
社会人向けのサービスも拡充しています。

教室・塾事業

日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営

出版・コンテンツサービス事業

児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売

保育・幼児事業

保育園、こども園、学童施設等の運営と幼保園等への物販

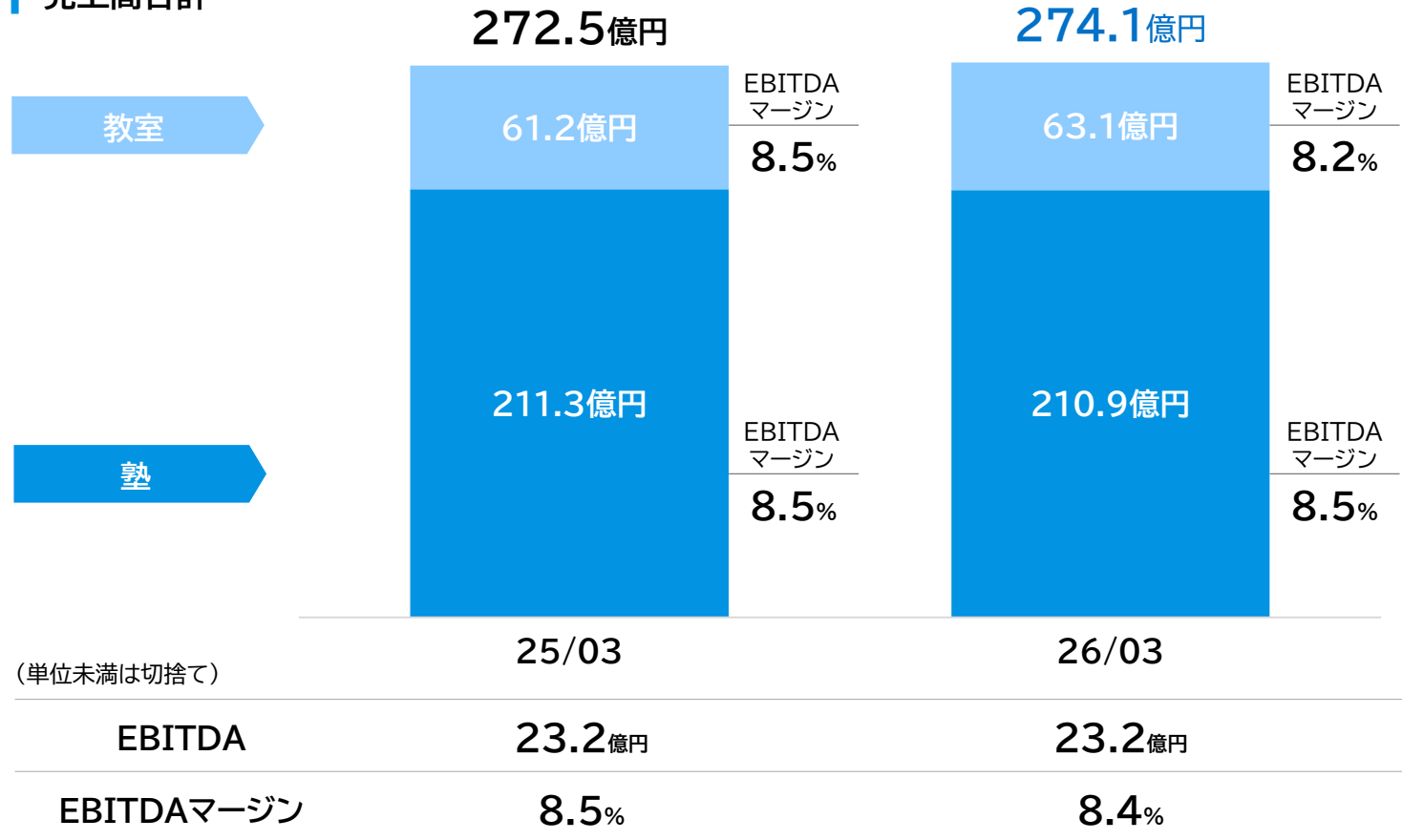
グローバル事業

グループ海外事業の推進やODA事業の企画・受託・実施



## 教室・塾事業※ 業績サマリー

## 売上高合計



(単位未満は切捨て)

※塾事業は市進ホールディングスの2026年2月期第3四半期及び第4四半期(9~2月)の業績を取り込んでいます。

## 😊 ポジティブ要素

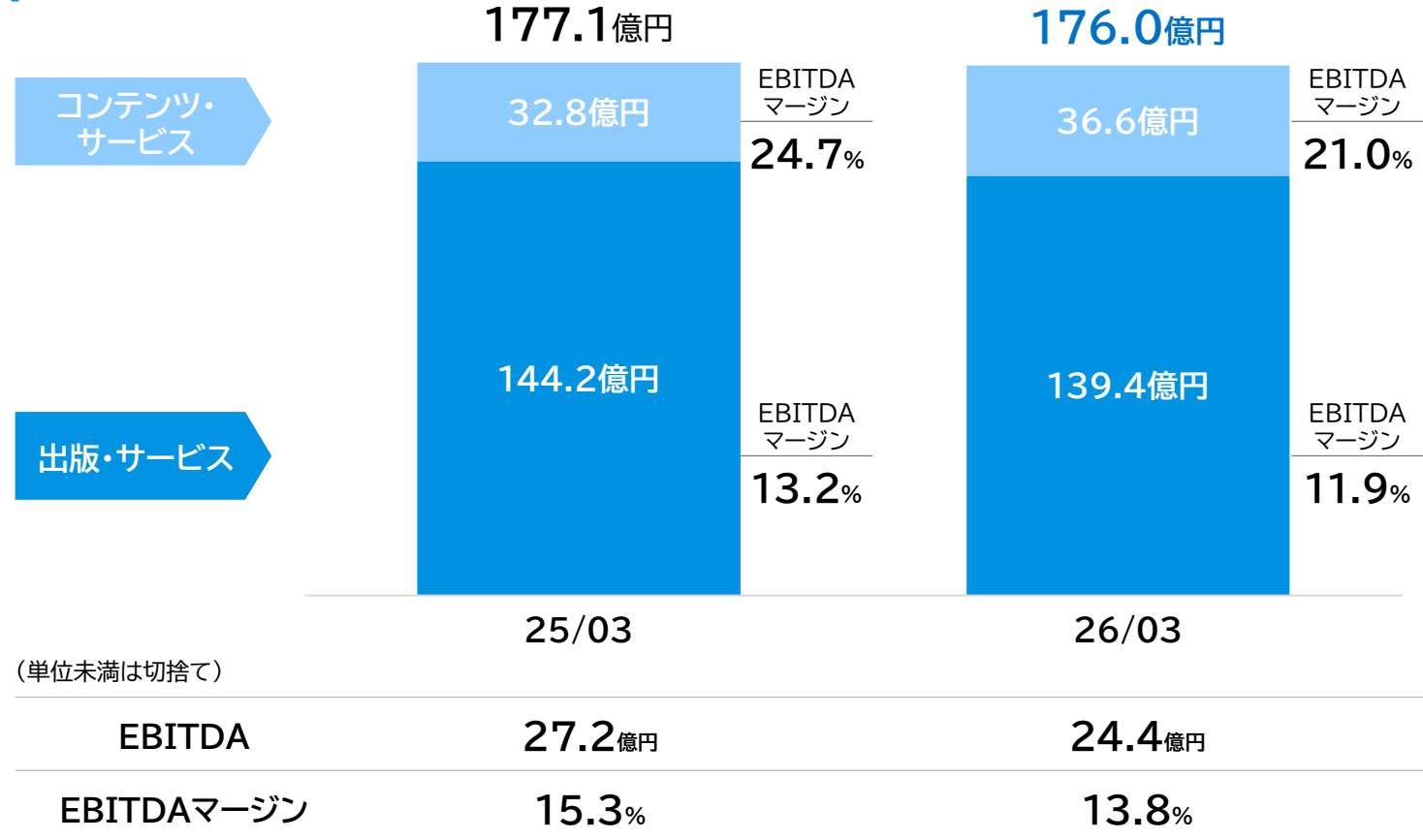
- 会員数・生徒数が回復基調
- 月謝改定の効果による売上拡大
- コスト構造の最適化

## ☹️ ネガティブ要素

- 少子化の影響で商圈の競争が強まり  
会員・生徒募集は引き続き課題
- 備品・水光熱費・人件費等のコスト増加

## 出版・コンテンツサービス事業 業績サマリー

## 売上高合計



## 😊 ポジティブ要素

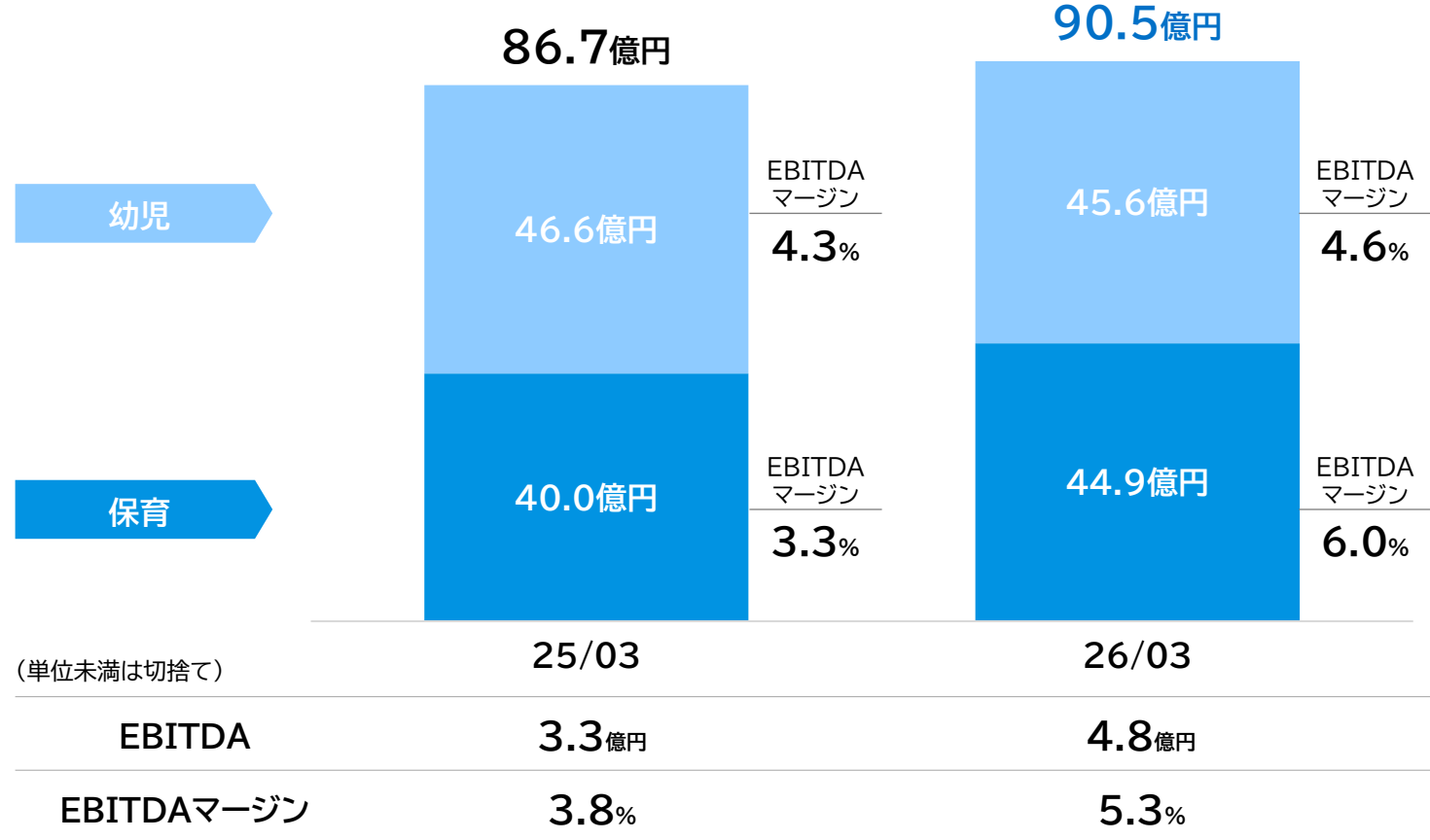
- 新刊点数の増加および価格見直し効果・利益率の高い中学参や高学参の好調・返品率改善の継続
- 看護師eラーニング事業の契約病院数増加
- オンライン英会話事業の有料会員数増加

## ☹️ ネガティブ要素

- 製造コスト、物流費等経費の増。中東情勢不安定化に伴う資材確保・生産や物流面でのリスク
- 教科書採択の端境期に伴う教師用指導書の売上減
- オンライン英会話事業のAIへの投資増

## 保育・幼児事業 業績サマリー

### 売上高合計



### 😊 ポジティブ要素

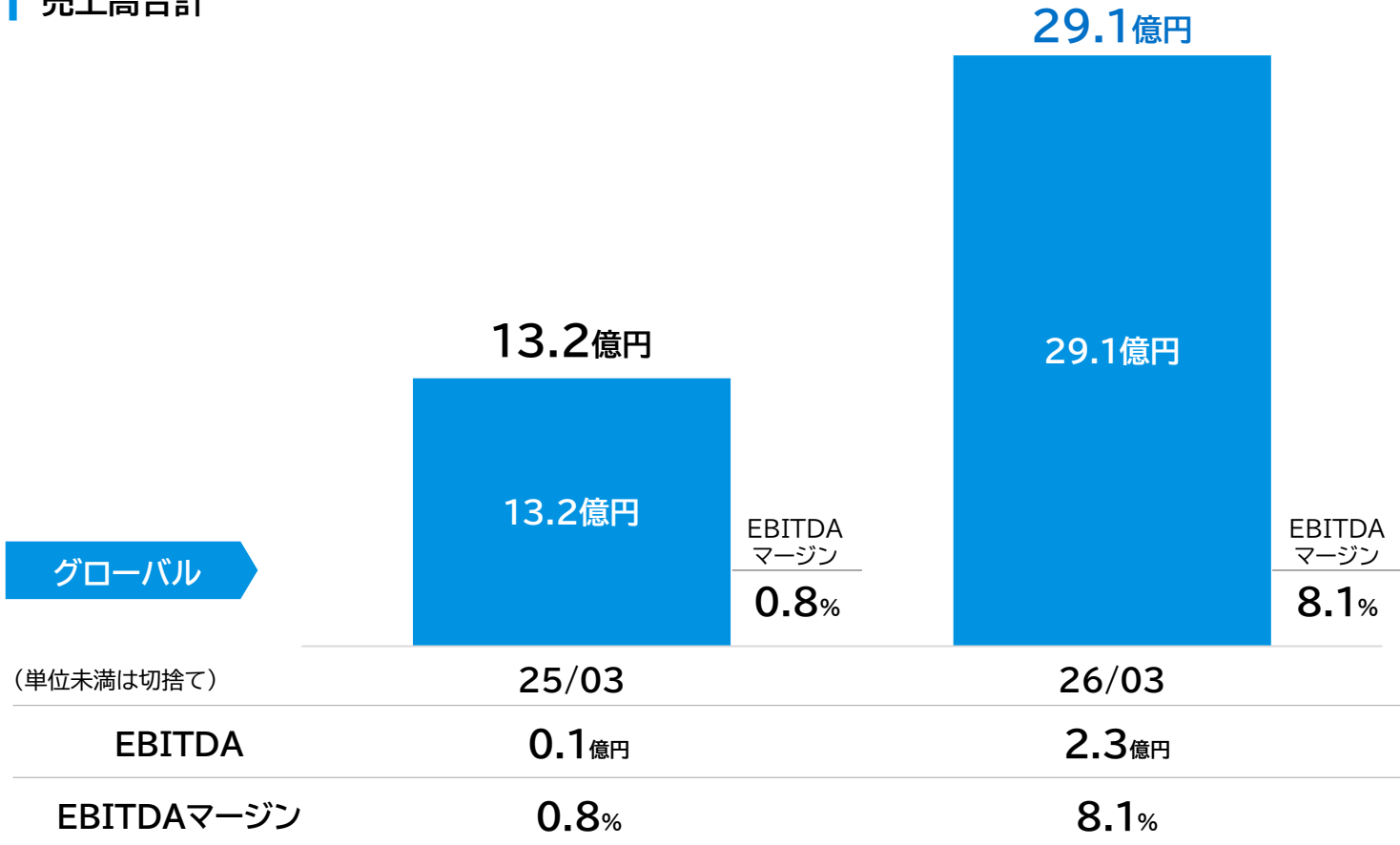
- ・ 保育園の充足率の高位安定
- ・ 公設学童における補助金の増加
- ・ 幼児事業のアパレル事業の好調
- ・ 幼児事業におけるコスト削減の進展

### ☹️ ネガティブ要素

- ・ 食材費や電気・ガス代の高騰に伴うコスト増
- ・ 少子化による園児数の減少
- ・ 原材料価格の高騰や調達難航に伴う商品確保のリスク

## グローバル事業 業績サマリー

## 売上高合計



## 😊 ポジティブ要素

- ・DTP社のグループイン効果

## ☹️ ネガティブ要素

- ・次年度から適用されるベトナムの教科書採択制度変更に伴う、教科書販売事業の規模縮小の懸念
- ・海外市場(中国等)における法規制変更・通関差し止めなどのリスク

# 03 医療福祉分野 業績

2つの事業で高齢化が進む社会の課題に挑み、安心して暮らせる街づくりを進めます。

高齢者住宅事業

サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営

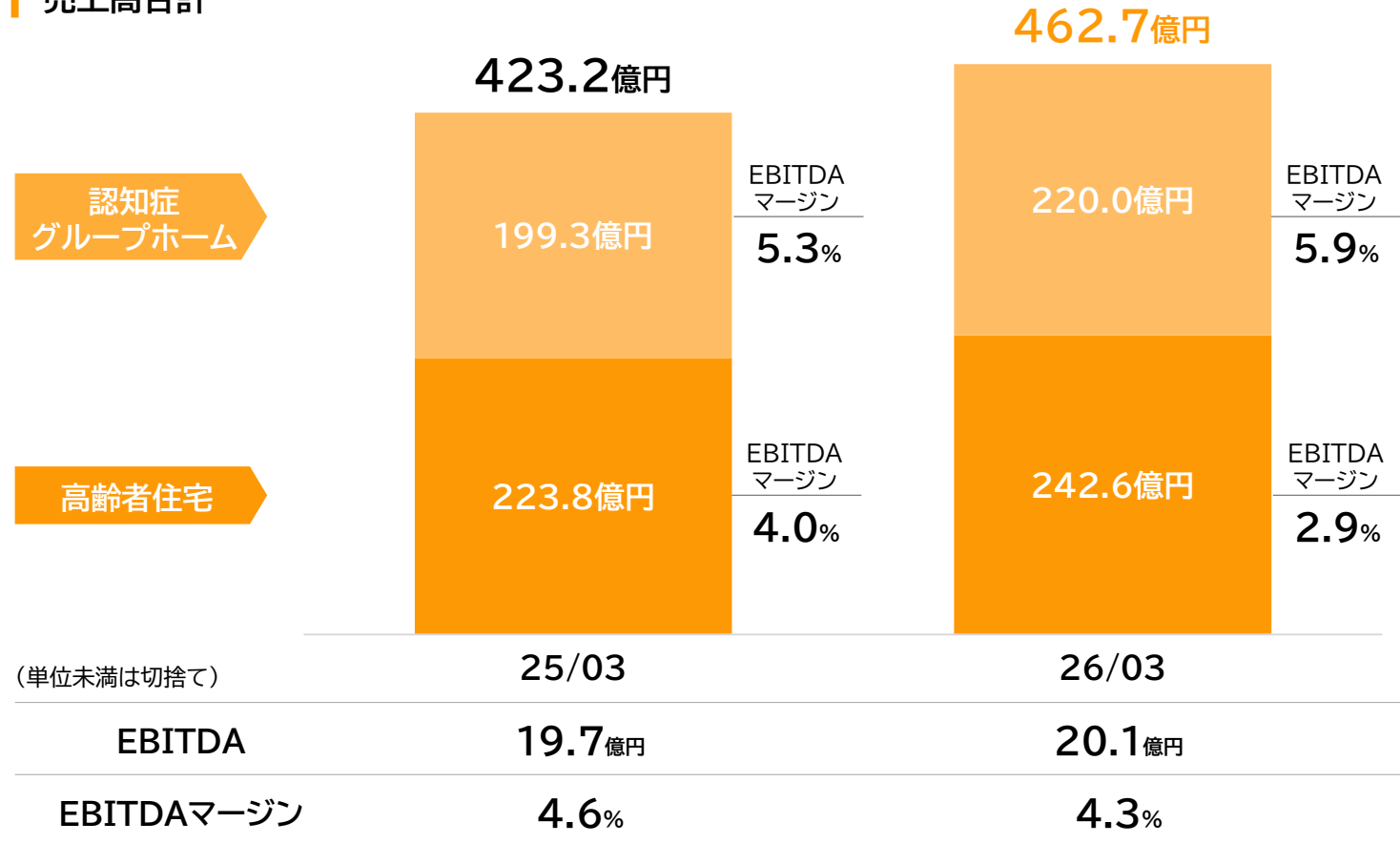
認知症グループホーム事業

グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営



## 医療福祉分野 業績サマリー

## 売上高合計



## 😊 ポジティブ要素

- 新規開設順調(対前期比)
  - 高齢者住宅 +16事業所
  - 認知症GH +15事業所
- 入居率(新店含む)の高水準維持
  - 高齢者住宅 95.4%
  - 認知症GH 98.0%
- 価格改定効果の継続
- 介護周辺事業の伸長

## 😞 ネガティブ要素

- 食材費・水光熱費等の物価高騰によるコスト増加
- 建築コスト高騰による新規開設のハードル上昇

# 04 Gakken 2027 進捗



## 2027年に向けたグループのテーマ

2024-2025

Gakken  
**2025**  
SHIFT

Gakken2023の積残し課題を解決し  
新たなステージにはずみをつける

教育

重点領域の再強化と  
新規事業への挑戦

医療福祉

トップカンパニーに向けての  
医療福祉事業の深化と  
サステナビリティの追求

2026-2027

Gakken 2027  
**ValueUP**  
2026-2027

2030 Vision達成に向けた  
事業・財務・組織の価値向上

教育

総合力で世界へ。教育の未来をリード  
する、Gakkenの挑戦

医療福祉

持続的成長と還元の実現。  
トップカンパニーとして地域社会の  
未来を創造

2028-2030

Gakken  
**2030**  
Aspiration

人の可能性をどこまでも  
追求する会社へ

# 事業Value UP 2026年9月期 上期の主要なトピックス

## “ソフト”領域での事業拡大を積極的に推進

2025

リカレント・リスキング、  
グローバル展開を本格化

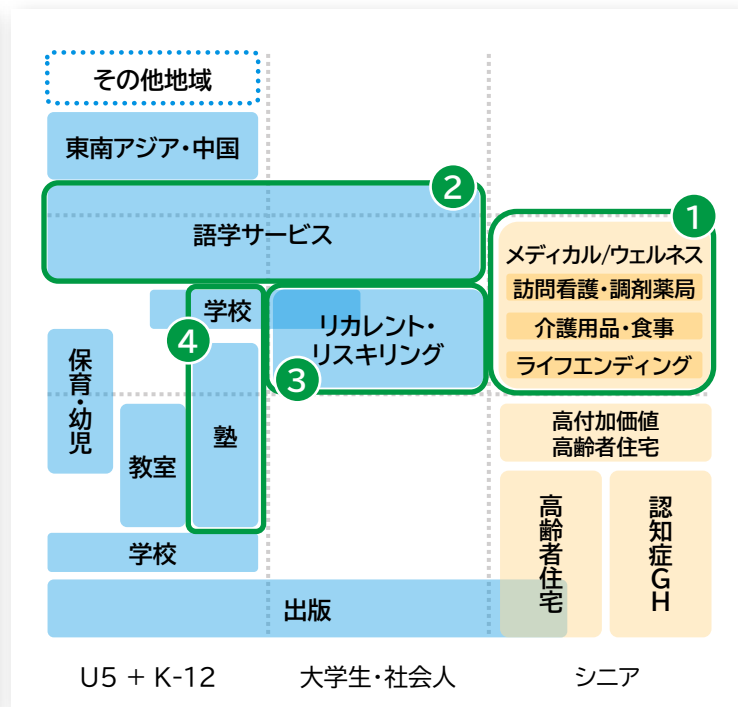
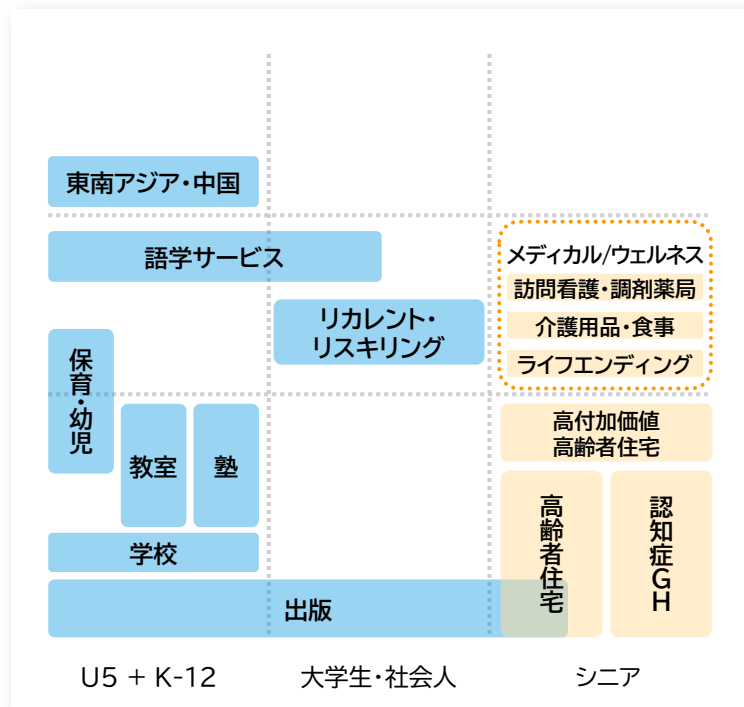
2027

東南アジア市場、メディカル/ウェルネス事業、  
およびリカレント・リスキング事業に注力  
する一方、縮小・撤退も実施

グローバル

ソフト

ハード



## 2026年9月期 上期の主要なトピックス

### 1 メディカル/ウェルネス事業の拡大

- 訪問看護事業、医療支援事業、介護用品販売・レンタル事業、ライフエンディング事業の拡大により、介護保険制度に依存しない事業構造への変革を推進

### 2 語学サービス事業の協業強化

- 語学サービス事業の強化に向け、「レアジョブ」との協業を強化
- 2026年5月15日付で株式交換契約を締結

### 3 リカレント・リスキング事業の拡充

- 司法試験、行政書士、弁理士など難関資格向け通信講座を展開する「資格スクエア」がグループイン
- 女性リーダー育成×社外メンターのパイオニアである「Mentor For」がグループイン

### 4 塾事業の展開地域・サービスの拡大

- 「エニバ」・「白石学習院」・「山ヨビ」のグループインにより、展開地域を拡大すると共に、高専市場や学校向け事業などサービスの幅を拡大

## 事業のValue UP ①メディカル/ウェルネス事業の拡大

介護保険制度に依存しない事業構造への変革を図り、住み慣れた場所で暮らし続けられる環境を提供するために、施設介護に加え、メディカル/ウェルネス事業をオーガニック・インオーガニックの両輪で展開加速

### メディカル事業



#### 看護

- 2026年2月、MCS初の訪問看護事業を開始し「愛の家みらい訪問看護ステーション大森」を開設

### ウェルネス事業



#### 共同研究

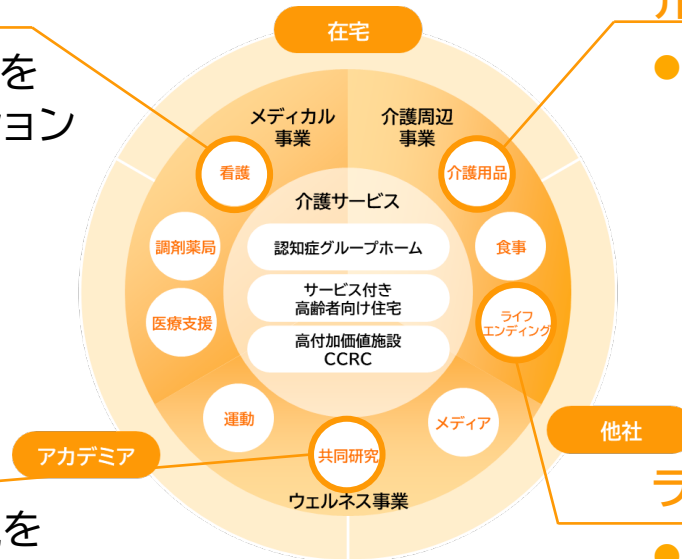
- 2025年10月、京都大学との共同研究を基盤とする新会社「Gerok」が本格始動 認知症等の老化関連疾患の予防・治療に向けた実用化を推進

### 介護周辺事業



#### 介護用品

- 2025年12月、介護用品・福祉機器の販売・レンタルの千葉県最大手「パラメディカル」がグループイン



#### ライフエンディング

- 2026年5月、「ここりえ家族葬ホール さいたま吉野町」を新設

# 事業のValue UP ②語学事業:レアジョブとの協業強化 5/15付で株式交換契約を締結

## 本提案のスキーム



## 今後のプロセス

2026年

5/15

レアジョブとの株式交換契約の締結

6/25

レアジョブ第19期定時株主総会での本件に関する決議

~7月末

クロージング / 効力発生

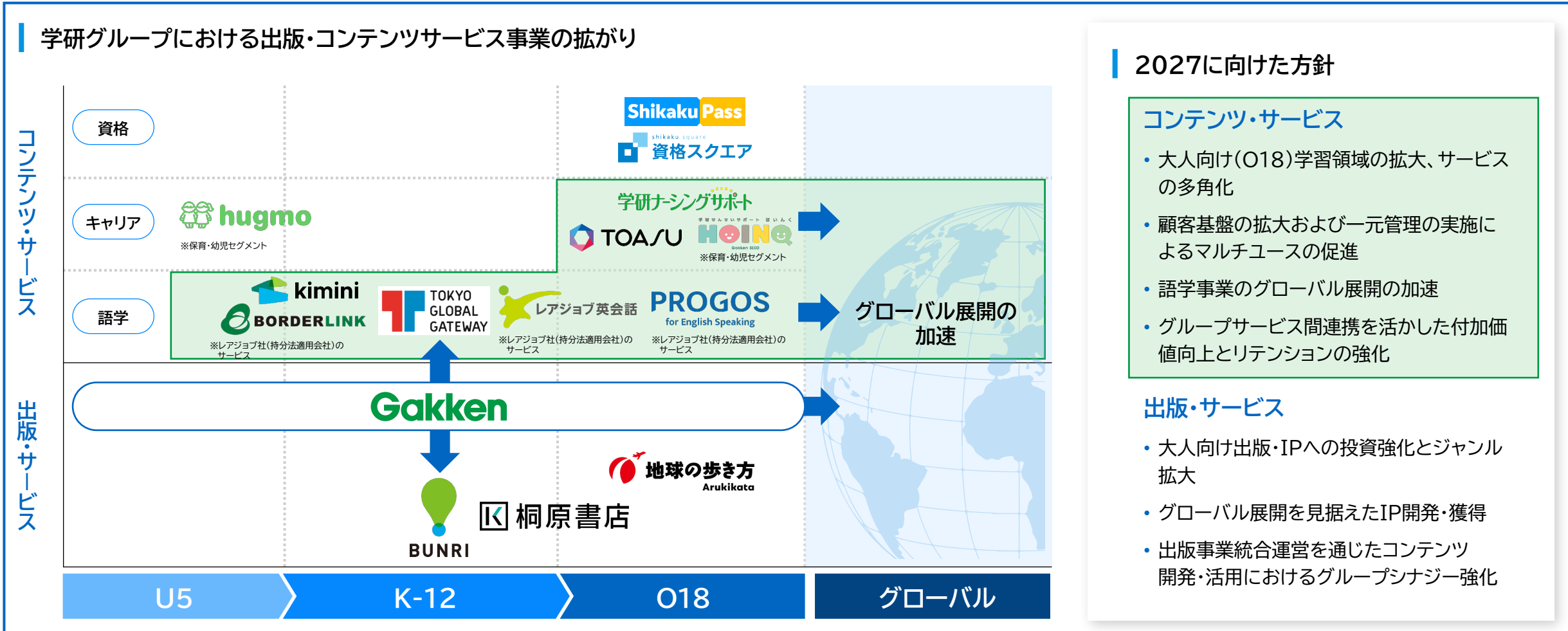
# 事業のValue UP ②語学事業:レアジョブとの協業強化で目指す姿と今後の進め方

## レアジョブとの協業強化で目指す姿



# 事業のValue UP ②語学事業:レアジョブとの協業強化 「Gakken 2027」における建付け

## Gakken 2027における出版・コンテンツサービスセグメントの戦略方針



## 事業のValue UP ③リカレント・リスキリング事業のコンテンツ拡充・④塾事業の展開地域・サービスの拡大

教育分野の成長投資を強化し、多様化する学習ニーズに応えるコンテンツとサービスの提供体制を強化  
リカレント・リスキリングの領域拡張と塾の地域・サービス拡大を推進し、シナジー創出による成長加速を図る

### リカレント・リスキリング事業のコンテンツ拡充



- 2026年1月に株式会社レアジョブから新設分割された株式会社資格スクエアの全株式を取得し、完全子会社化
- 司法試験予備試験、行政書士、弁理士等の難関資格に強みを持つ同事業のグループ化により、既存の資格学習サービスのラインナップを補完・拡充し、専門性の高い学習支援領域を強化

### Mentor For

- 2026年2月に女性リーダー育成×社外メンターのパイオニアである「Mentor For」がグループイン
- 法改正・開示の流れを受け注目が高まるDE&I／女性活躍領域において、個への伴走支援や研修メニューを拡充し、リカレント・リスキリング事業の成長を加速

### 塾事業の展開地域・サービスの拡大



- 高専入試/高専生のためのオンライン学習塾や高専向け教育支援サービスを展開する「エニバ」がグループイン
- 事業領域の拡大や顧客層の拡大・顧客基盤の拡充を図る



- 広島市で50年の実績を有する「白石学習院」がグループイン
- Mission47戦略に基づく中国エリアでの事業基盤拡大と中学受験指導ノウハウの塾グループ間共有

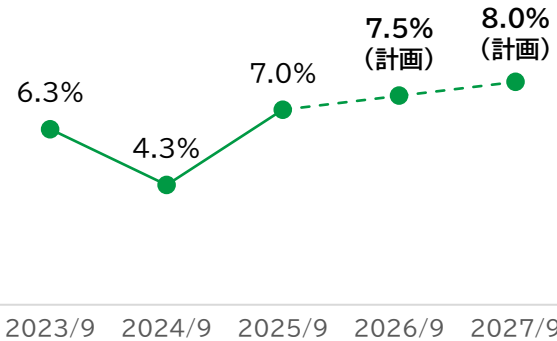


- 山梨県で、現役生および既卒生を対象とする予備校の経営や高校での講習会の提供をする「山ヨビ」がグループイン
- 高校受託型事業のノウハウを獲得

## 財務のValue UP

資本効率や株価を意識した経営の実現に向け、ROE、株主資本配当率(DOE)の計画達成を目指した対応を推進中

### ROE



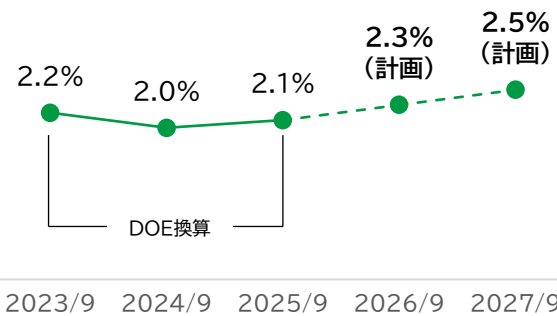
### 成長戦略の着実な実行

- Gakken2027で掲げた計画に沿い、メディカル・ウェルネス事業やリカレント・リスティング事業などの成長領域への投資を継続

### 資本効率の向上

- 河合楽器(26/3売却済)、進学会(売却中)など、政策保有株式縮減を実行中

### DOE

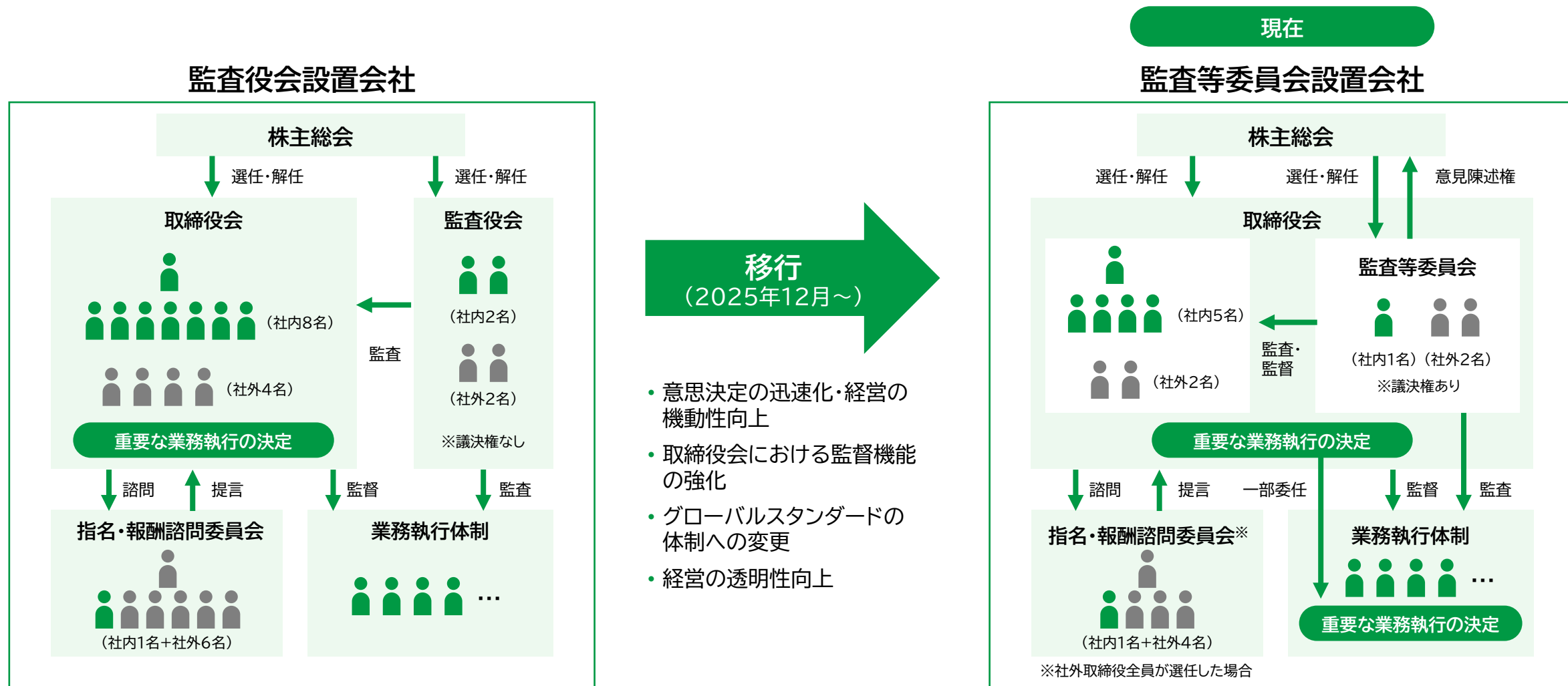


### 2026年9月期 株主還元方針

- 計画通りの還元を予定(年間配当:29円)
- DOE2.3%を目標として、安定的・継続的な株主還元を推進
- 創業80周年記念優待を実施予定

## 組織力のValue UP : ガバナンス体制の強化

グループのガバナンス強化、意思決定の迅速化などを目的に、2025年12月から監査等委員会設置会社へ移行



## 財務目標

## 計画数値に変更なし

(単位:億円)  
(単位未満は切捨て)

	2025/9	2026/9	2027/9
売上高	1,991	2,050	2,150
EBITDA	129	135	145
EBITDA率	6.5%	6.6%	6.8%
営業利益	82	85	95
営業利益率	4.1%	4.1%	4.4%
当期純利益※	35	40	45
当期純利益率	1.8%	2.0%	2.1%
ROE	7.0%	7.5%	8.0%
自己資本比率	36.9%	30%以上	
D/Eレシオ	0.71	1倍以内	

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

## セグメント別目標 (2027/9)

 教育セグメント

売上高	1,145億円
EBITDA	96億円 (EBITDA率8.4%)
営業利益	66億円 (営業利益率5.8%)

 医療福祉セグメント

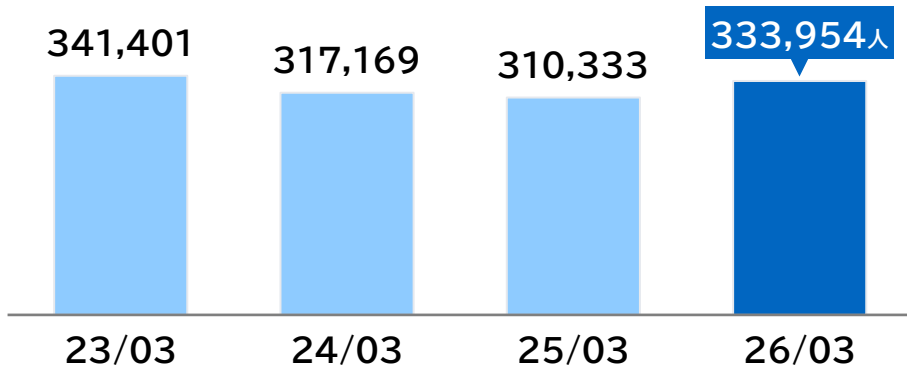
売上高	1,000億円
EBITDA	64億円 (EBITDA率6.4%)
営業利益	51億円 (営業利益率5.1%)

# 05 決算補足資料

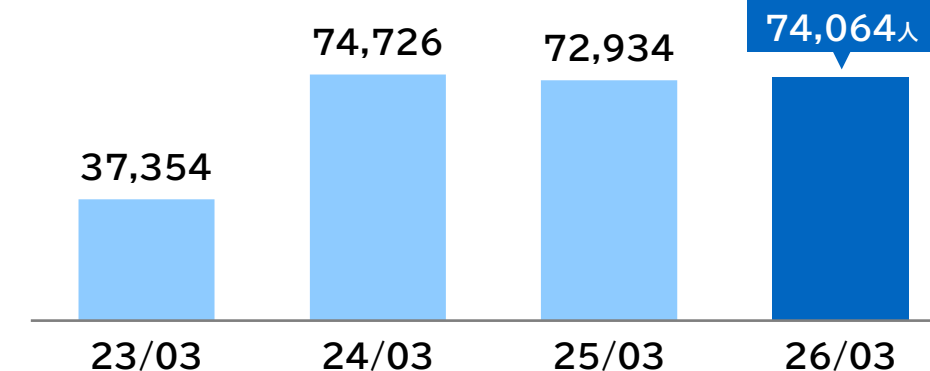


## 教室・塾事業 会員数・教室数・生徒数

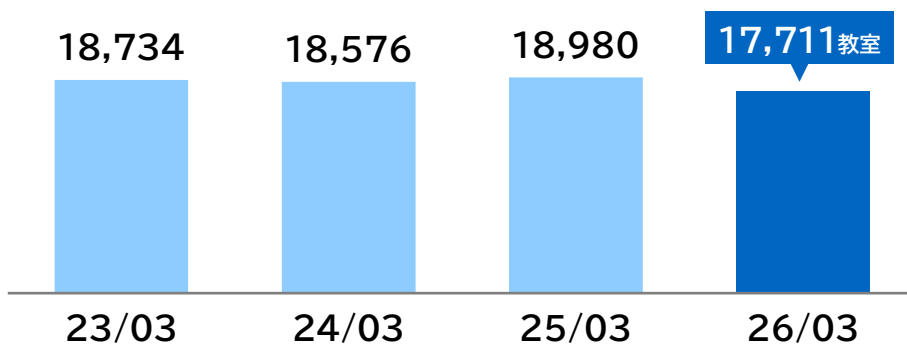
### 教室(会員数)



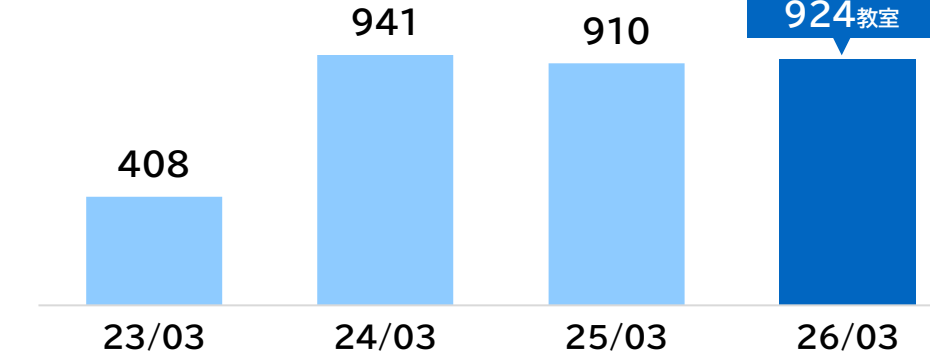
### 塾(生徒数)



### 教室(教室数)



### 塾(教室数)



※ 会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

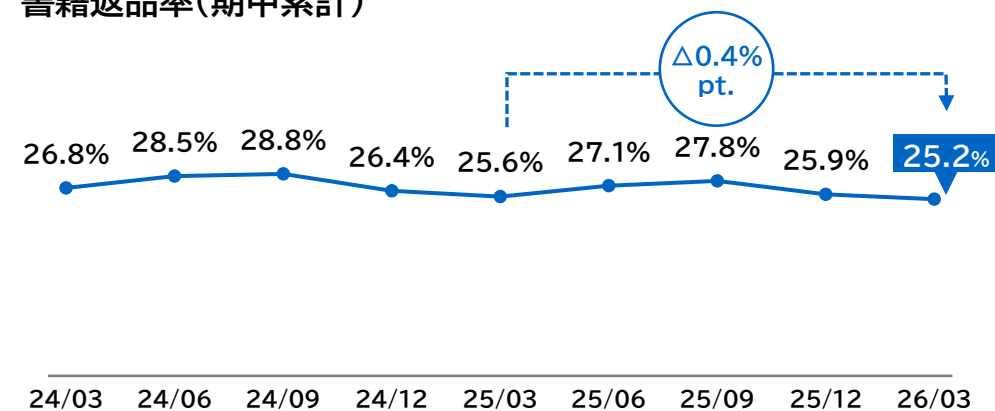
※ 2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン  
 ※ 2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

## 出版・サービス事業 書籍新刊点数/返品率※1

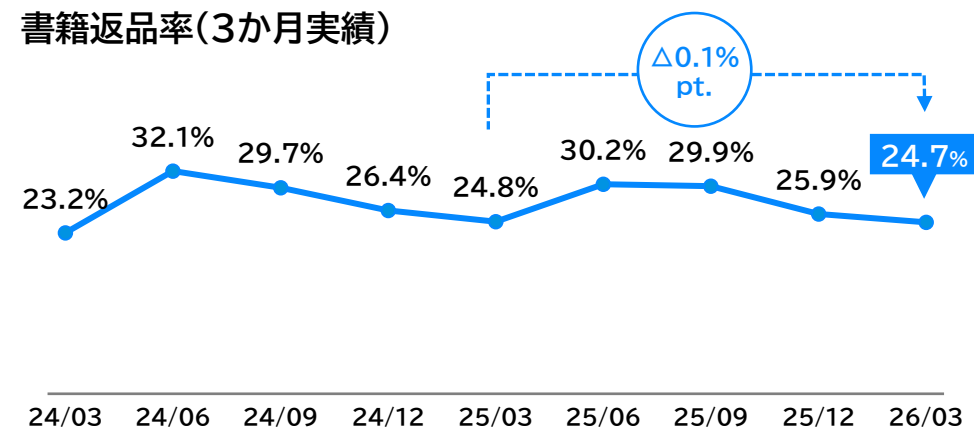
## 書籍新刊点数(期中累計)

(単位:点)	24/03	25/03	26/03
児童書	97	82	98
学習参考書	79	95	127
実用書	109	124	122
ムック	21	17	15
その他書籍	78	98	81
<b>合計</b>	<b>384</b>	<b>415</b>	<b>443</b>

## 書籍返品率(期中累計)



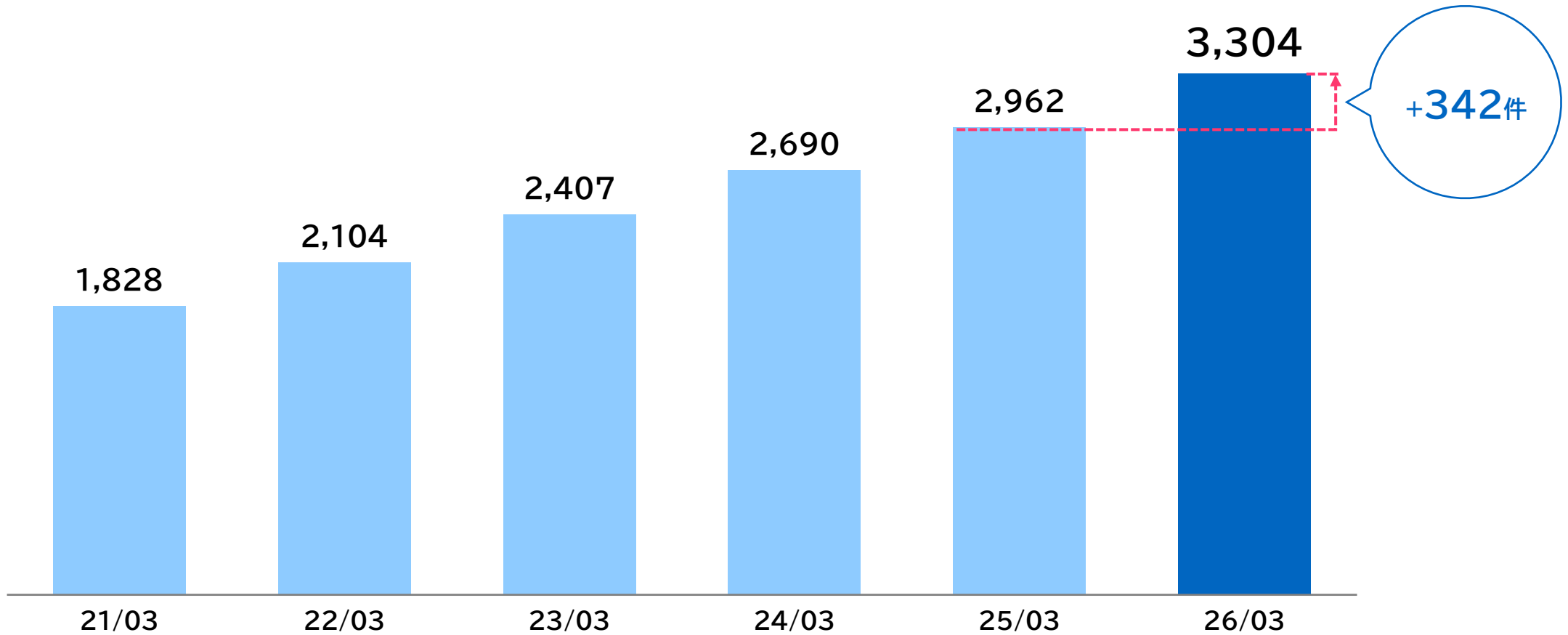
## 書籍返品率(3か月実績)



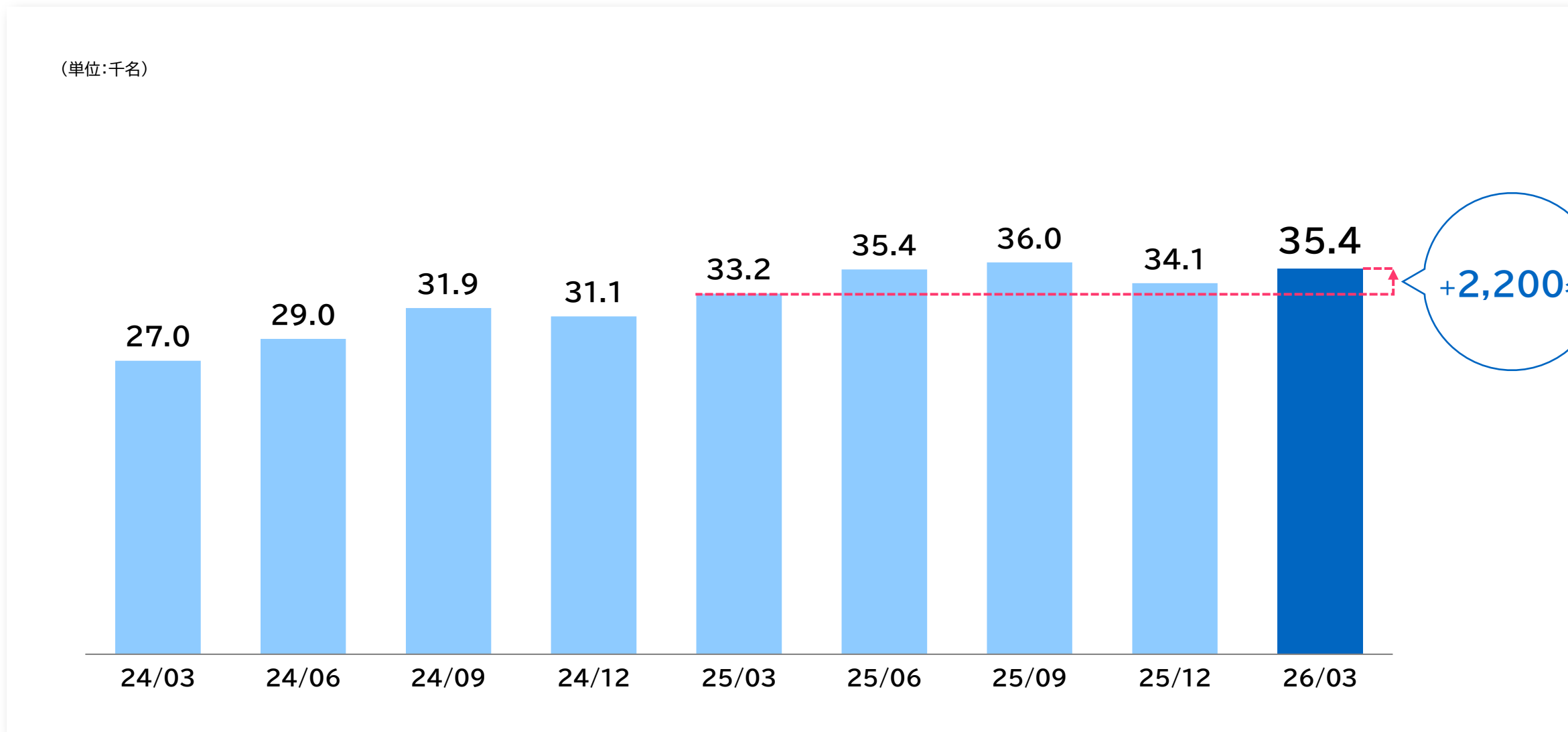
※1 書籍(雑誌は含まず)新刊点数及び書籍返品率は、(株)Gakken と(株)地球の歩き方の合算です。

## コンテンツ・サービス事業 看護師eラーニング契約病院数

(単位:件)

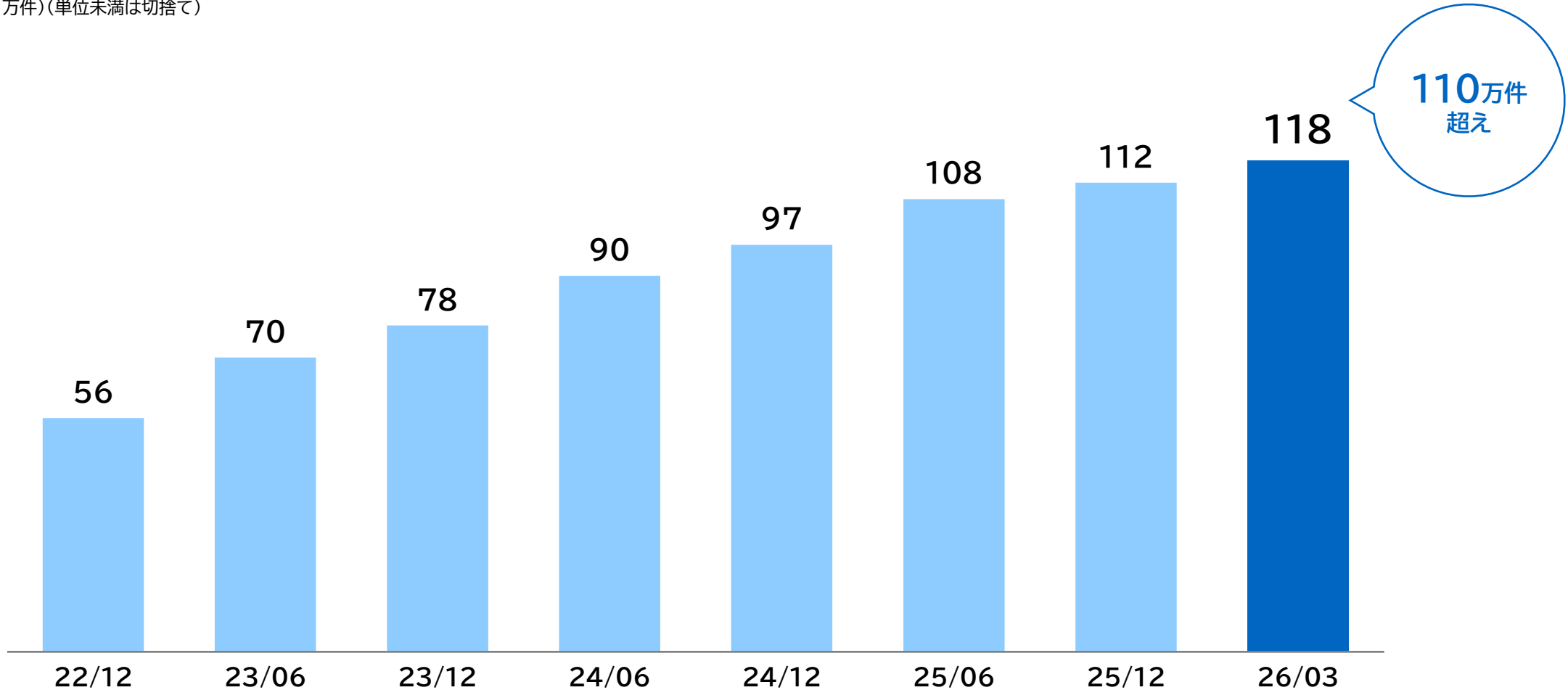


## コンテンツ・サービス事業 オンライン英会話 Kimini 有料会員数



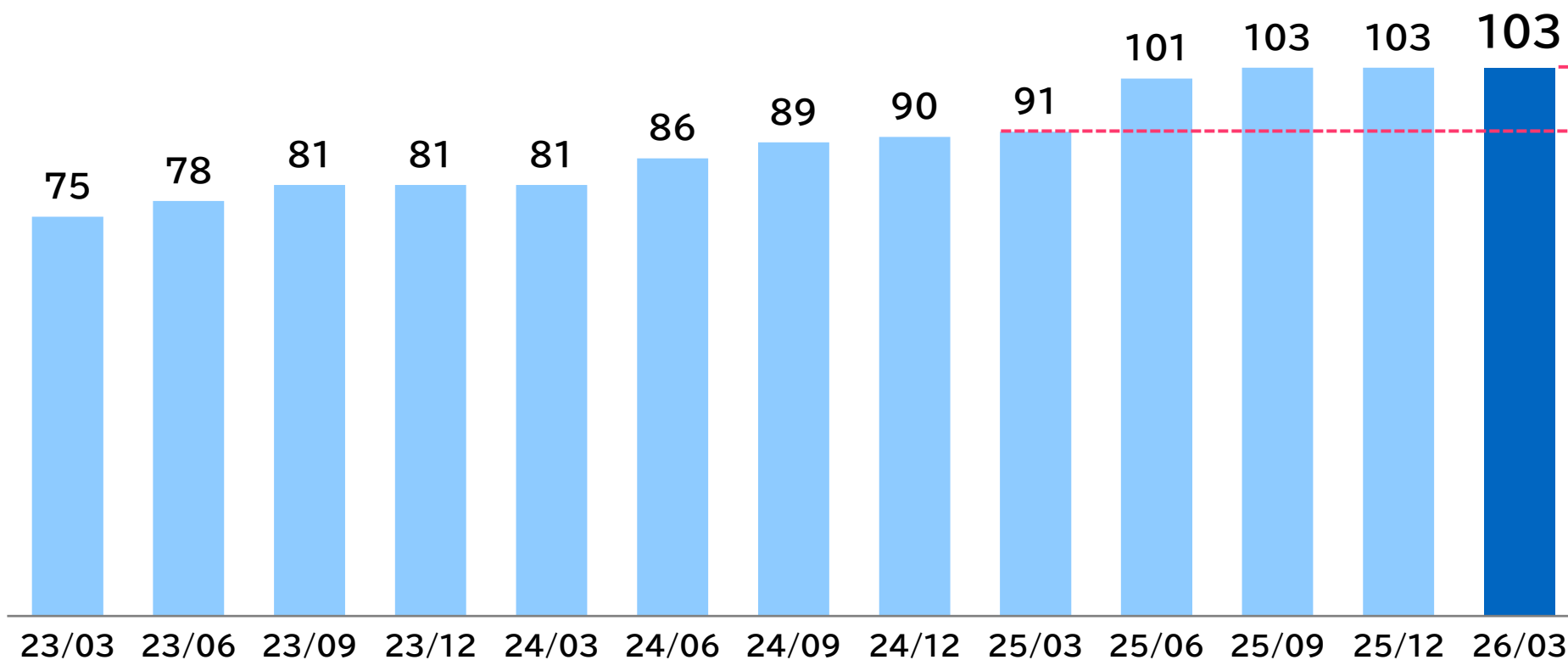
## DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント Gakken ID数

(単位:万件)(単位未満は切捨て)



## 保育事業 子育て支援施設数等推移※1

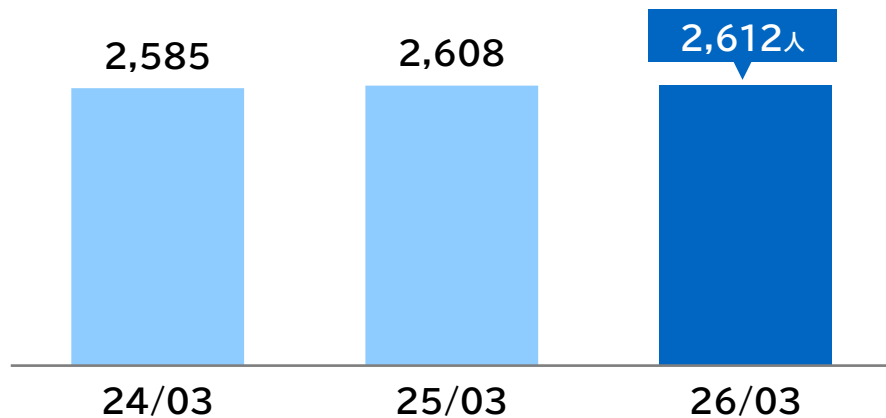
(単位:施設数)



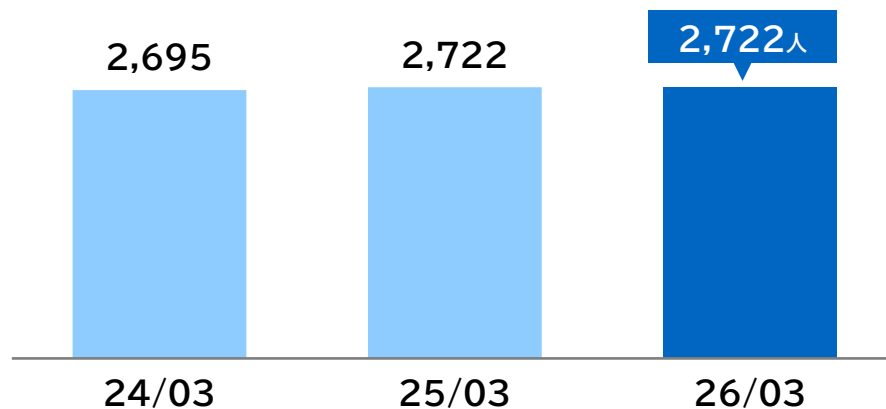
※1 記載の数値は保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、複合施設の合算で、新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

## 保育事業 キャパシティと稼働状況

子育て支援施設 園児数(人)

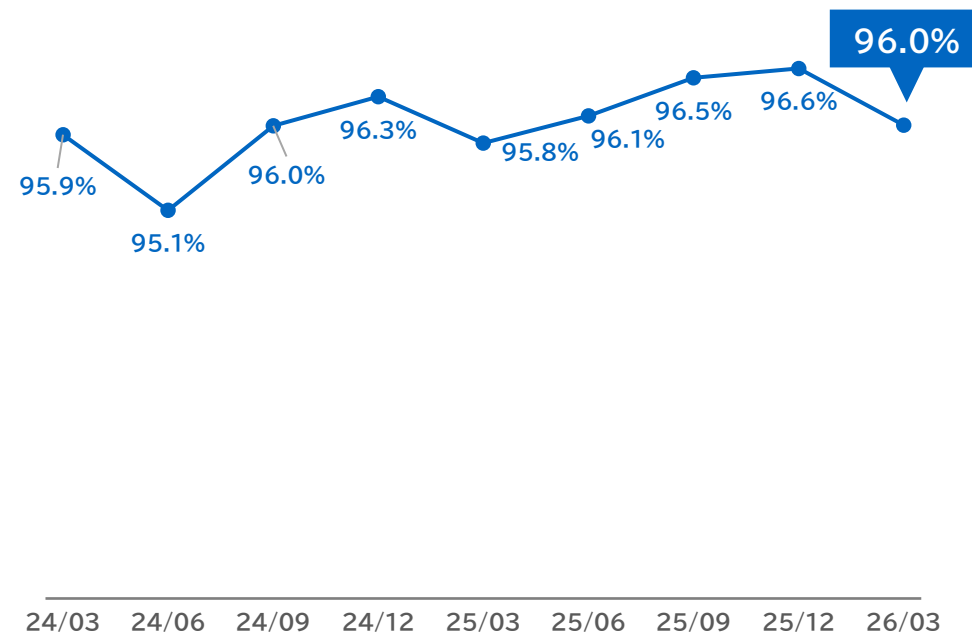


子育て支援施設 定員数(人)  
※1



※1 定員数は、保育所のみです。

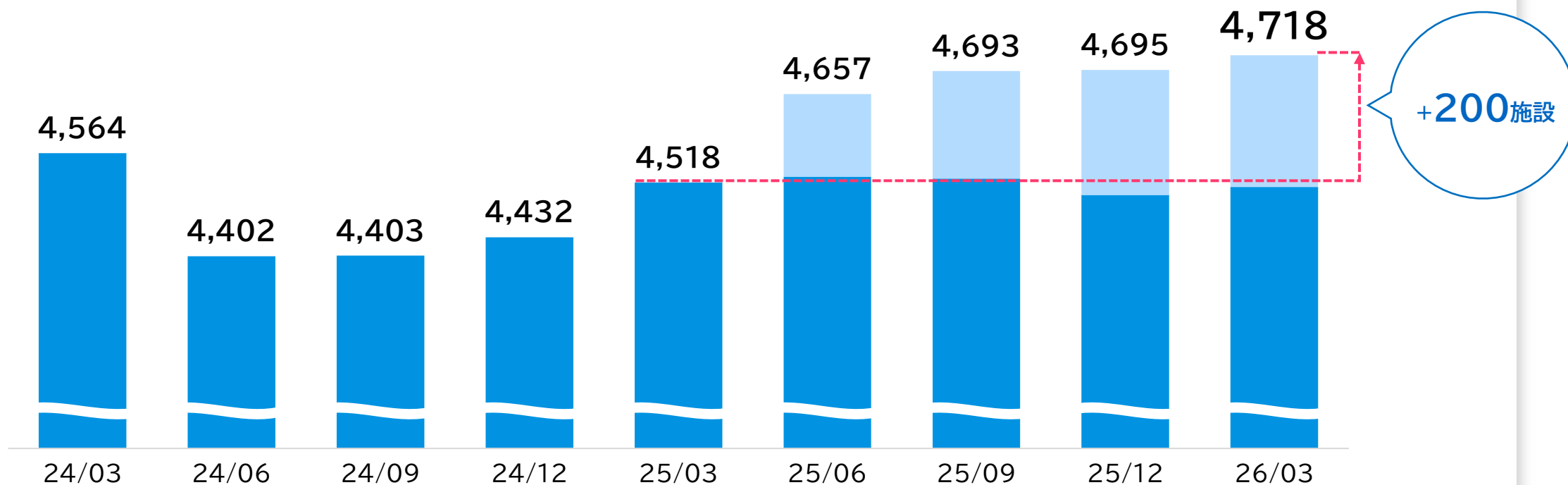
充足率推移



## 幼児事業 園向けICTサービス導入園数

(単位:園数)

- HOINQ 導入園数 ※1
- hugmo 導入施設数 ※2

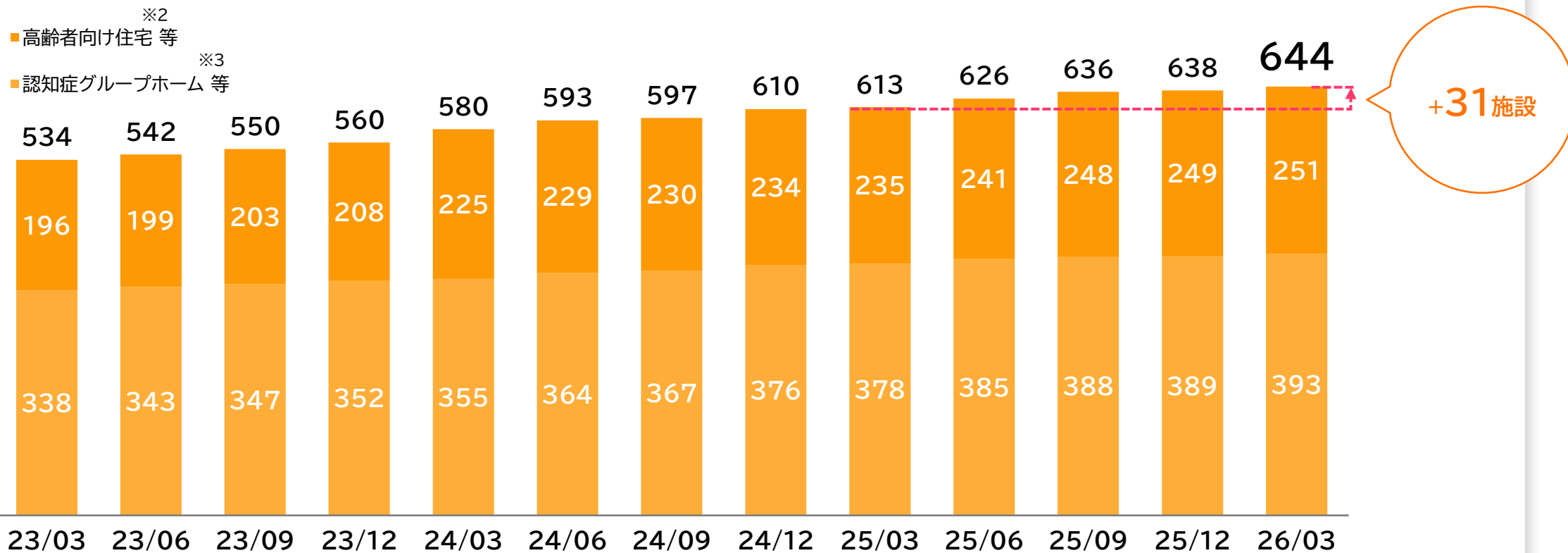


※1 HOINQ: 幼稚園・保育園・こども園で働く職員を対象とした、1回15分で完結するオンライン研修サービス

※2 hugmo: 保育園・幼稚園・こども園などの子育て支援施設と保護者をつなぎ、業務連絡や健康・安全管理をICTで効率化する保育支援クラウドサービス

## 医療福祉分野 拠点数推移※1

(単位:施設数)



※1 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

※2 サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。

※3 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含みます。

## 医療福祉分野 開設※計画と進捗

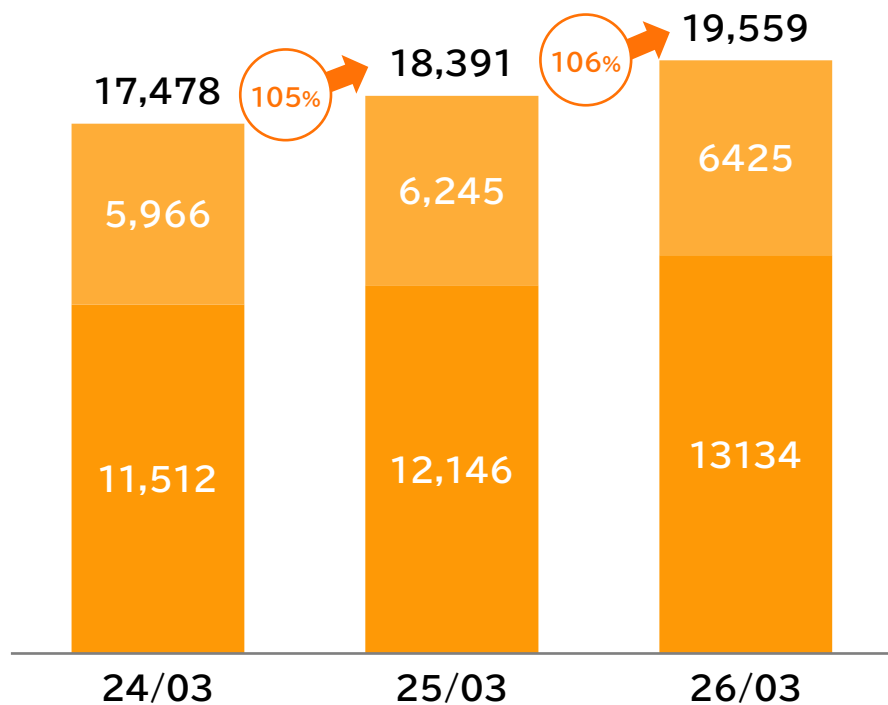
(単位:開設数)	2025/9	2026/9			
	開設実績	通期計画	上期実績	進捗率	通期見込み
高齢者住宅	18棟 (1,165戸)	26棟 (1,500戸)	3棟 (166戸)	棟数:11.5% (戸数:11%)	14棟 (841戸)
認知症グループホーム	12棟 (216居室数)	10棟 (180居室数)	4棟 (72居室数)	棟数:40.0% (居室数:40%)	10棟 (189居室数)
合計	30棟	36棟	7棟	棟数:19.4%	24棟

※ 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。  
 ※ 現時点における中計の開設計画に変更はございません。

## 医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

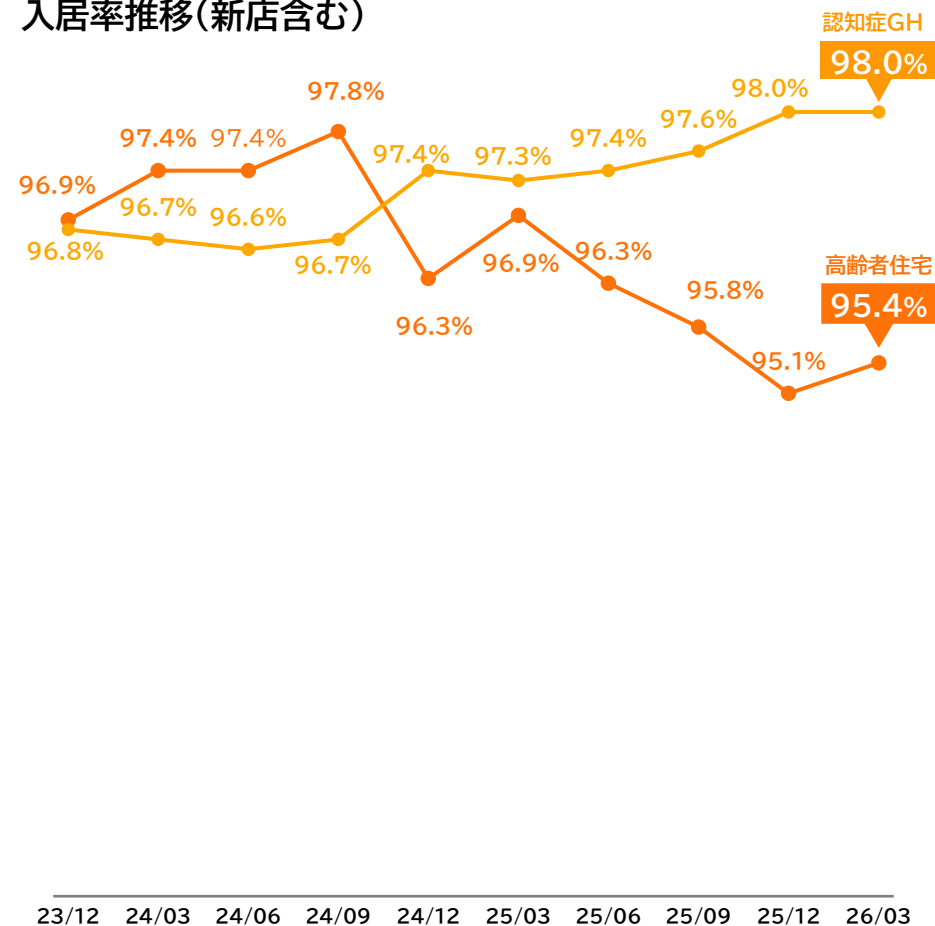
## 総戸数・居室数推移

- ※1  
 ■ 認知症GH 居室数(件)  
 ■ 高齢者住宅 総戸数(件)



※1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

## 入居率推移(新店含む)



## 医療福祉分野 入居率

	23/03	23/09	24/03	24/09	25/03	25/09	25/12	26/03	
高齢者住宅	総戸数	9,980	10,361	11,512	11,805	12,146	12,918	13,036	13,134
	入居数	9,519	10,062	11,210	11,541	11,775	12,376	12,401	12,535
	入居率	95.4%	97.1%	97.4%	97.8%	96.9%	95.8%	95.1%	95.4%
認知症 グループ ホーム	居室数※	5,687	5,858	5,966	6,137	6,245	6,353	6,371	6,425
	入居率	96.9%	96.8%	96.7%	96.7%	97.3%	97.6%	98.0%	98.0%

※ 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

今日、いくつ挑戦した？  
**Gakken**

本資料には事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。  
したがって、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おきください。



本文部分には見やすい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています